



梅雨明けから続く猛暑の中、七月三十日、油縄子学区盆踊り大会が四年ぶりに開催されました。

コロナ禍で残念ながら三年間実施できずにおりましたが、この日を待ちわびた皆様の笑顔が集い、楽しいひとときを過ごすことができました。

四年前の前回より会場が日立医療センターの駐車場から、交流センターの駐車場に移り、二回目の盆踊り大会です。槽を囲んでの盆踊りは、世代を越えてふれあいの輪が広がりました。また、コンパクトになった会場は、皆様方の距離感を縮め、より楽しく充実した盆踊りとなりました。最後の抽選会まで盛り上がりました。

皆様方、沢山のご参加いただき、ありがとうございます。また、四年ぶりということと不安もありましたが、ご支援ご協力を賜りました関係者の皆様方のお陰で無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

四年ぶりの盆踊り大会
実行委員長 根本弘道

令和5年9月20日
第125号
発行 油縄子学区コミュニティ推進会
調査広報部
TEL (38) 7531
<http://www.net1.jway.ne.jp/c-yunago/index.html>



右手を高くね!

(2頁につづく)



張り切っております!



子供囃子の皆さんありがとう!

油縄子コミュニティ推進会・行事予定(10月~12月)

ステップクラブ	毎月第1・第3月曜日	くさゼロ大作戦	10月1日(日)
はつらつクラブ	毎月第2・第4月曜日	ふるさと再発見ウォーク	10月22日(日)
おもちゃライブラリー	毎週火曜日(月3回)	三世代交流秋祭り	11月5日(日)
国分ふれあい茶話会	毎月第4火曜日	文化講演会	11月19日(日)
油縄子ふれあい茶話会	毎月第2水曜日	交流センター休館日	12月29日(金)~1月3日(水)

(1頁より)



輪投げ 入った入った!



フラ・アロハの皆さんです!



さあ 踊って下さいね!



はい おめでとう!(抽選会)



シロップ何にする?



にぎわう模擬店前



去る七月二十三日皆様のご協力により久しぶりに開催することが出来ました。
夏休み中の子供たちの交通安全のため、おまわりさんのお話や婦警さんとケンちゃんのお話を、子供達はしっかりと聞いてくれました。

元気な子供達は、内外の種類のゲームに暑さも忘れて、はしゃぎ遊んでいました。

また役員の方々の協力で出店した模擬店では、多くの方々に利用していただき、売り切れになった店もありました。

最後のお楽しみ抽選会では、抽選番号の読み上げの度に、いつもの歓声と落胆のため息が場内に流れていました。

暑い中朝から準備もくれましたボランティアの皆様ありがとうございました。

来年も宜しく申し上げます。

(青少年育成部 部長 福田 孝)



婦警さんとケンちゃんのお話面白いね!



おまわりさんのお話よく聞いてね!



さあ 元気にラジオ体操!



はい 参加賞です



ヨーヨー 静かに上げてね!



ストラックアウト 当たった!

学校だより



一人一人が
輝く学校づくり

日立特別支援学校
校長 瀬尾 栄

全校児童生徒百三十八名でスタートした令和五年度は、五月に新型コロナウイルスが五類に移行され、学校の教育活動も少しずつコロナ前に戻りつつあります。一学期には宿泊学習や修学旅行を予定通り行うことができるなど、日々の学習や行事の中で、子どもたちにとって確かな学びと成長につながる教育活動を展開することができています。

思い返せば、コロナ禍においては、子どもたちの大切な「命」を最優先に考え、全てを決断してきました。同時に「学びを止めない」という強い思いで、職員一丸となつて知恵を出し合い前に進んできました。まさに、我々教職員の力が試される日々でした。そのような中、子どもたちの「笑顔」と保護者・地域の方々の「支え」には、本当に助けられました。校長としては感謝の思いしかありません。

本校の学校経営ビジョンの一つに「よさを認め合い、一人一人が輝く学校づくり」を掲げています。子どもたち一人一人に、それぞれによさがあり、無限の可能性が 있습니다。私は、先生方に日々の生活の中で、子どもたちを褒め認めてあげること、できたことや頑張ったことを褒めて子どもたちの「自己肯定感」を高めるよう話をしています。

これからの特別支援教育は「障害の有無に関わらず誰もがその能力を発揮し、共生社会の一員として共に認め合い、支え合い、誇りを持って生きられる社会の構築を目指す。」としています。本校においても、自分の能力を最大限に発揮させ、一人一人が輝く学校づくりに今後もしっかり取り組んでいきたいと思ひます。地域で育ち地域で自立していく子どもたちを、今後も応援してまいりますようお願いいたします。



高等部 3年修学旅行・京都清水寺



中学部 音楽事業・琴体験



小学部 交通教室

「ゼロカーボン タウン油繩子」 の発足

油繩子学区では、市の計画に基づき、「環境活動委員会」を立ち上げ、「ゼロカーボンタウン油繩子」の名称で今後地域活動を展開していくことになりました。

ゼロカーボンとは？

地球温暖化防止に取り組むために、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスを人の活動によって排出量を削減することです。

各家庭における日常の取り組みにより、温暖化防止が可能になります。これからの地球環境を良くするために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後、日常の取り組みについては、定期的に「ゼロカーボンタウン油繩子」のチラシにてお知らせしてまいります。

(委員長 島崎 治)



油繩子歴史散歩

嶋崎 敏

その六 要害城址(下孫館址)

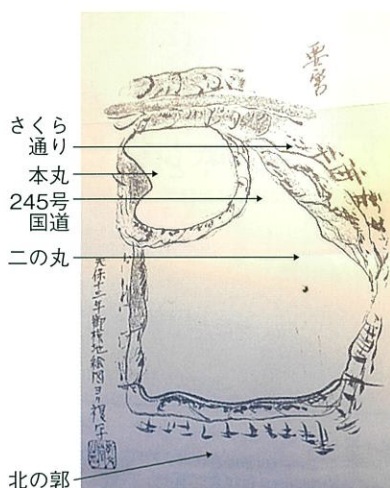
国分町二丁目の桜川北岸に位置している。元々は南岸にあったが焼失により北岸に建設されたと傳へている。佐竹氏の要害としては桜川の南岸が防衛線としては効果的であったろうが、北岸に移したのは、佐竹氏が岩城氏と結ぶことによって、最早北に敵の脅威はなくなつたと判断して建てたのであろうか。

現在は国道側に空堀、多賀病院との間と桜川跡地に土塁の名残をのこしている。
規模は 本丸 東西三十間 南北五十間
二の丸 東西四十間 南北六五間
北の郭 東西三五間 南北四十間
本丸相当が今の要害クラブの場所、北の郭が多賀病院の東、二の丸が桜川跡である。

大久保鹿島神社の記録から館主と伝えられる孫沢權大夫頼茂や家老の日渡兵庫之進、石川若狭の存在が従来孫沢原の戦いに関連されて語られてきた。時代を説明するものはない。水府志料やこれを受けた新編常陸国誌、多賀郡史は岩城氏が隆盛の時、岩城氏が置いたのではと書いている。

佐竹義宣の弟能化丸が天正十八年岩城常隆の急逝をうけ後嗣として岩城家に入り忠次郎貞隆を名乗った。この要害城は貞隆の

太田への往還の宿舎として利用され「忠次郎殿出張の宿舎」と称されたという。空堀の中に水の湧出している場所がある。城館としての大切な水源であったのか。また、近年「四つ塚」の碑が入り口の左側に設置された。昭和十三年、旭町社宅建設地(昔の地名四つ塚)の四つの塚から古い人骨が見つかった。これも孫沢合戦に結び付けられて合祀して「四つ塚」の碑をもうけてあった。が、ヨークベニマルの店舗建設に伴い、現在地に移設されたものである。



城址図 天保13年検地図



移設された四つ塚

お知らせ

油繩子交流センター

協力員募集

当センターでは協力員を、

左記の通り募集致します。

- 採用人数…若干名
- 仕事内容…施設の維持管理、事務。他コミュニティの行事への協力。
- 勤務時間…十六時～二十一時迄。

ローテーションによる勤務(土日、祝日勤務あり)。

- 時給…九百三十円(現時点)

問い合わせ先

油繩子交流センター

事務長

☎3817531



編集後記

記録的暑さのニュースが連日、新聞やTVを騒がしている。

拙宅のメダカもげんなりの様子である。

ところで先日、二つの夏季行事(夏のつどい、盆踊り)が、四年ぶりにそろって開催された。

空白期間が長かったので、円滑な運営が心配されたが、ボランティアの方々協力も頂いて、賑やかに開催することが出来た。参加者の出足も好調で、子どもたちや若者が多く、華やいた雰囲気であった。

他学区では、昨今色々な事情で縮小や中止を余儀なくされる行事も多いように聞いている。油繩子学区も例外ではないが、皆が集える行事は絶やすことなく「油繩子」と云う地域を大切に守っていきたいものである。

先ほどの行事では若者たちの楽し気な笑顔が印象的であった。油繩子学区の未来は明るく思いたい。

(櫻村均)

